

「関西文化学術研究都市の明日を考える懇談会」提言のポイント

(1) 提言の基本的な考え方の背景

『これまでは』

学研都市の造成、学術研究機関の
立地・住宅建設が重点



『これからは』

一定規模の学術研究機関の集積・都市の形成を
どう活用していくのか

(2) 今回の提言の基本的な考え方

学研都市全体の一体性の確立、総合力の強化

- ・施設や都市の集積を活かし行政間や立地機関間の連携、市民交流などを進めることで、学研都市全体の一体性を高め、総合力を強化。



「都市の運営」についての本格的な取り組み

- ・産学官連携機能や情報発信交流機能及び諸外国に対する窓口機能の強化など。
〔 高度な都市運営のためアドバイザー体制を確立 / 近畿圏全体で学研都市を支える体制の確立 〕

(3) 提言の基本的な考え方を実現するための個別の取り組み事項

学術研究機能と生産機能の一体化、産学官連携の一層の推進

- ・研究開発型産業施設や生産施設の立地の促進。大学を核とした産学官連携の強化、中堅・中小企業やベンチャー企業への支援の一層強化。
〔 研究開発型産業施設や生産施設の立地促進 / 大学間ネットワークを核とした産学官連携の強化 / (株)けいはんなにおけるリエゾン機能の強化 / オープンラボやインキュベート施設の充実、ベンチャービレッジの建設 〕

産業文化・生活文化への取り組み、学研都市発の新たな文化の創造

- ・デジタル文化やメディア・コンテンツ産業などの新たな産業文化や外国人を含む多様な市民・研究者等の交流の中から生まれる生活文化など幅広い文化への取り組み。
〔 国立国会図書館関西館（第2期事業） / 平城遷都1300年を目指した平城宮跡第一次大極殿院等の復原事業 / メディア・コンテンツ産業の育成 / 市民やNPO、研究者などの交流活動への支援 〕

世界に開かれた国際的な都市への展開

- ・アジアをはじめとする世界各国との幅広い交流連携、共同研究や共同開発、または海外企業の誘致や国際会議の開催、外国人が快適に居住できる環境づくり。
〔 中国北京市中関村科技園区等アジア地域をはじめ世界各国との交流 / 海外に向けた戦略的体制の構築 / 外国人の居住環境整備 〕

多彩で魅力的な創造都市の形成

- ・様々な学術研究活動や文化活動の展開、都市をフィールドにしたパイロット・モデル都市としての先駆的な試み、「体験し学ぶ新たな観光」など。
〔 メインストリート等の沿道景観の形成 / 里山環境の保全や自然環境との共生 / 「体験し学ぶ新たな観光」ルートの設定 / テスティング・フィールドにおける規制緩和等の特例措置 〕

(4) 引き続き取り組むべき事項

学研都市の活動を支える都市基盤の早期整備

- ・事業中のクラスター（地区）について周辺環境と調和した早期整備、低未利用地について学研都市に適した新たな立地施設の誘導や住宅整備などの有効活用、道路について整備の促進、鉄道やバスについても輸送力の強化や利便性の向上。